

- 問1 607年に小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣された時期の日本の様子について、法隆寺が建立されるなど、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何と呼ぶか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 国風文化 2. 天平文化 3. 弘仁・貞観文化 4. 飛鳥文化
- 問2 7世紀、日本は友好関係にあった百済が滅亡した際、その復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送りました。このとき、日本軍が白村江で戦い、大敗を喫した相手である二つの国の連合軍として正しいものを次の中から選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 元と高麗 2. 隋と新羅 3. 唐と新羅 4. 唐と高句麗
- 問3 飛鳥時代から奈良時代にかけて、日本は中国の先進的な制度や文化を積極的に取り入れ、国家の形を整えていきました。この時期の外交と都づくりに関する背景や仕組みを説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 推古天皇は中国の隋へ遣使を送り、大陸の進んだ制度を学ぶとともに、後の奈良時代には唐の長安の都市計画をモデルとした平城京を築き、中央集権体制を象徴させた。
2. 推古天皇は唐の長安が非常に優れた防衛機能を持っていることに注目し、外敵からの攻撃を防ぐために長安と全く同じ構造を持つ城郭都市としての平城京を建設した。
3. 天武天皇は唐の長安へ遣使を送ることで、仏教を中心とした国づくりを構想し、その拠点として九州に大宰府を建設して大陸との交易を独占した。
4. 聖徳太子は隋との軍事同盟を目的として遣使を派遣し、その見返りとして得た技術を用いて、それまでの都にはなかった碁盤の目状の道路を持つ平安京を完成させた。
- 問4 7世紀後半、日本（倭）が「白村江の戦い」で唐・新羅の連合軍に敗れた後、九州地方では大規模な防衛施設の建設が進められました。大宰府を守るために築かれた、全長約1.2kmにおよぶ巨大な土塁と、背後の山に築かれた朝鮮式山城の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 鴻臚館と多賀城 2. 屋島城と基肄城 3. 金田城と板付遺跡 4. 水城と大野城
- 問5 飛鳥時代において、朝鮮半島から伝来した新しい宗教である仏教を積極的に受け入れ、聖徳太子（厩戸王）と協力して政治改革を推進した有力豪族を答えなさい。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
1. 蘇我氏 2. 北条氏 3. 藤原氏 4. 平氏
- 問6 飛鳥時代後半から奈良時代にかけての貨幣の歴史について、正しい説明を述べているものを次の中から選びなさい。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。
2. 当時の政府は、貨幣の流通を促進するために蓄銭叙位令を廃止した。
3. 富本銭は、平城京への遷都を記念して藤原不比等によって作られた。
4. 和同開珎は、日本で初めて鑄造された銀銭として全国に普及した。
- 問7 645年に中大兄皇子らが中心となって始まった大化の改新の後、日本は朝鮮半島での戦いに敗れ、外交・国防上の大きな転換期を迎えました。この時期の出来事について述べた文として最も適切なものはどれか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いの敗北を受けて、地方を統治する国司の権限を大幅に強め、各地方の豪族に独自の軍事権を与えた。
2. 唐や新羅の脅威に対抗するため、中大兄皇子は天皇への即位を辞退し、蘇我氏とともに集団指導体制を敷いた。
3. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。
4. 白村江の戦いで新羅を援護して唐を退けた後、百済との同盟を強化して朝鮮半島での権益を拡大した。
- 問8 663年に朝鮮半島で行われた白村江の戦いにおいて、百済の復興を支援した倭（日本）の軍勢が唐・新羅の連合軍に大敗したのち、大和政権が日本本土への侵攻に備えて講じた防衛策として最も適切なものはどれですか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
1. 元寇の襲来に備えて、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いた。
2. 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。
3. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた。
4. 平安京を守るために、検非違使を設置して治安維持にあたらせた。
- 問9 7世紀初めに聖徳太子（厩戸皇子）によって現在の奈良県に建立された、世界最古の木造建築物として知られる寺院を次の中から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 延暦寺 2. 法隆寺 3. 東大寺 4. 中尊寺
- 問10 世界最古の木造建築とされる法隆寺や、そこに安置されている釈迦三尊像に代表される、7世紀前半の文化の特徴として最も適切な説明はどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 武士の台頭を背景に、力強さと写実性を重視した東大寺南大門などの文化である。
2. 聖武天皇の時代に、仏教によって国家を守ろうとする鎮護国家の思想が強まった文化である。
3. 大陸や朝鮮半島の技術を取り入れた、日本で最初の本格的な仏教文化である。
4. 唐の影響から離れ、日本の風土や生活に合わせた貴族中心の文化である。
- 問11 西暦600年ごろの出来事が記された歴史年表において、推古天皇の即位と前後して、天皇の摂政である聖徳太子と協力しながら、大陸の制度や仏教を取り入れた政治体制を築いた大臣（おおおみ）は誰ですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 物部守屋 2. 藤原道長 3. 蘇我馬子 4. 蘇我入鹿
- 問12 聖徳太子（厩戸皇子）が「十七条の憲法」を制定した背景には、当時の政治的な課題を解決する狙いがありました。この法令を通じて太子が実現しようとした「国家のあり方」として、最もふさわしい説明はどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 国民の選挙によって選ばれた代表者が、議会で法律を決定する立憲民主主義的な国家
2. 有力な豪族が個別に権力を持つのではなく、天皇の下に役人が結集する中央集権的な国家
3. 海外の十字軍派遣の動きに合わせ、キリスト教を国教として受け入れる宗教的な国家
4. 地方の農民に土地の私有権を認め、それぞれの生活を安定させることで成り立つ地方分権的な国家
- 問13 聖徳太子が定めた冠位十二階という制度の目的と、その仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 家柄にとらわれず、個人の才能や功績によって役人を採用し、天皇を中心とする政治を支える優秀な人材を確保すること。
2. 役人が守るべき道徳的な心得や政治に対する心構えを定め、仏教や儒教の教えを取り入れた政治を行うこと。
3. 戸籍を作成してすべての人々に平等に土地を分け与え、その収穫から税を徴収することで国家の財政を安定させること。
4. 地方の有力な豪族に対し、それぞれの家柄に見合った地位を公認することで、地方統治を円滑に進めること。
- 問14 8世紀ごろの東アジアの情勢を説明した次の文章において、空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。「中国大陸では（①）が広大な領土を支配しており、その都である長安は国際色豊かな都市として栄えた。また、同時期の朝鮮半島では（②）が半島を統一しており、日本とも活発な交流があった。」 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. ①：宋、②：高麗 2. ①：漢、②：百済 3. ①：隋、②：高句麗 4. ①：唐、②：新羅

答え合わせ・解説

問1	答え 4 飛鳥文化	6世紀末から7世紀前半にかけて、聖徳太子や蘇我氏が仏教を保護したことで成立した文化です。遣隋使の派遣などを通じて、中国（隋）や朝鮮半島の進んだ技術や思想が取り入れられました。この時期の代表的な建築物として、世界最古の木造建築である法隆寺が挙げられます。
問2	答え 3 唐と新羅	663年、日本（倭）は百済を再興させるために軍を派遣しましたが、中国大陆を統一した唐と、朝鮮半島東部の新羅による連合軍に敗北しました。この結果、日本は朝鮮半島への影響力を失い、国内では唐などの侵攻に備えて大宰府に水城を築くなど、国防体制を急いで整えることとなりました。
問3	答え 1 推古天皇は中国の隋へ遣使を送り、大陸の進んだ制度を学ぶとともに、後の奈良時代には唐の長安の都市計画をモデルとした平城京を築き、中央集権体制を象徴させた。	推古天皇の時代に派遣された遣隋使は、大陸の優れた仏教文化や政治制度を日本に導入する大きなきっかけとなりました。その後の奈良時代に建設された平城京は、当時の東アジアにおける文明の中心であった唐の都・長安の規模や都市計画（条坊制）を強く意識しており、天皇による統治を視覚的に示す役割も果たしました。平安京は794年の遷都によるものであり、大宰府は都ではなく地方官職の一つであるため、これらを含む選択肢は誤りです。
問4	答え 4 水城と大野城	663年の白村江の戦いで大敗した中大兄皇子（天智天皇）は、唐や新羅の日本侵攻を恐れ、九州の政治拠点である大宰府の防衛を急ぎました。平地には「水城」と呼ばれる巨大な土塁を築いて敵の進軍を阻み、山の上には「大野城」などの山城を築いて防衛を固めました。これらの施設は、当時の緊迫した国際情勢を反映しています。
問5	答え 1 蘇我氏	古墳時代末期から飛鳥時代にかけて勢力を伸ばした蘇我氏は、渡来人と結びついて大陸の新しい文化や仏教を積極的に取り入れました。蘇我馬子は聖徳太子と協力し、冠位十二階や十七条の憲法の制定、遣隋使の派遣など、天皇中心の国づくりに尽力しました。
問6	答え 1 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。	7世紀後半の天武天皇の時代、国家としての体制を強化する一環として富本銭が作られました。これに続く708年には、武蔵国から銅が献上されたことを記念して和同開珎が発行されます。富本銭は主に儀礼用や限られた範囲での使用だったという説もありますが、わが国最初の「銅銭」という位置づけは歴史的に非常に重要です。
問7	答え 3 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。	中大兄皇子は百済復興のために軍を派遣しましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、日本への侵攻を恐れた中大兄皇子は、九州に防衛施設である水城や山城（朝鮮式山城）を築き、都を内陸の近江大津宮（滋賀県）へ移して防衛を固めました。天智天皇として即位するのもこの時期のことです。
問8	答え 2 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。	白村江の戦いでの敗北後、大和政権は唐や新羅による日本本土への報復的な侵攻を強く恐れました。そのため、対馬や九州北部に「防人（さきもり）」と呼ばれる兵士を配置し、大宰府の北側に「水城（みずき）」という巨大な土塁を、さらに周辺の山々に朝鮮式山城を築くことで、防衛体制を急ピッチで整えました。
問9	答え 2 法隆寺	聖徳太子が建立したこの寺院は、現存する世界最古の木造建築群であり、当時の仏教文化の高さを示しています。これに対し、東大寺は8世紀に聖武天皇が、中尊寺は12世紀に藤原清衡が、延暦寺は9世紀初めに最澄がそれぞれ建立したものです。
問10	答え 3 大陸や朝鮮半島の技術を取り入れた、日本で最初の本格的な仏教文化である。	飛鳥文化は、法隆寺の釈迦三尊像に見られるような北魏様式など、大陸の進んだ技術や芸術様式を取り入れた点に特徴がある。法隆寺の木造建築も、当時の大陸の建築技術を土台に造営されている。
問11	答え 3 蘇我馬子	蘇我馬子は、仏教の受容を巡って対立していた物部氏を倒し、一族の権力を確立した有力豪族です。推古天皇の即位後は、甥にあたる聖徳太子（厩戸王）と協力し、遣隋使の派遣や法隆寺の建立などを通じて、大陸の進んだ文化を積極的に取り入れました。蘇我入鹿はその孫にあたり、後に大化の改新で滅ぼされることになります。
問12	答え 2 有力な豪族が個別に権力を持つのではなく、天皇の下に役人が結集する中央集権的な国家	当時の日本は有力な豪族が独自の力を持ち、勢力争いを繰り返していました。聖徳太子はこうした状況を打破し、中国（隋など）のような組織立った国家を作るため、役人の地位を明確にする冠位十二階と、その倫理規定である十七条の憲法をセットで運用しました。これにより、豪族たちを「天皇に仕える役人」へと再編し、国家としての統一感を高めようとしたのです。
問13	答え 1 家柄にとらわれず、個人の才能や功績によって役人を採用し、天皇を中心とする政治を支える優秀な人材を確保すること。	冠位十二階は、世襲で地位が決まる従来の習慣を打破し、個人の実力を重視して役人を登用する画期的な制度でした。これは、隋（中国）などの進んだ文明に対抗し、日本を強力な中央集権国家へと発展させるための改革の一環です。なお、役人の心得を示したものは「十七条の憲法」であり、土地の分配は「班田収授法」の内容です。
問14	答え 4 ①：唐、②：新羅	7世紀後半、唐は朝鮮半島の新羅と結んで百済と高句麗を滅ぼしました。その後、新羅は唐の勢力を半島から退けて統一を果たします。8世紀は、中国では唐が全盛期を迎え、朝鮮半島では統一新羅が安定した統治を行っていた時期に当たります。